

高下石材店 事業継続力強化計画（抜粋）

事業継続力強化の目標

計画期間	2年
事業継続力強化に取り組む目的	<ol style="list-style-type: none">1. 人命（従業員・顧客）の安全と生活を守る2. 自社の経営維持による情報提供により、顧客や取引先への影響を軽減する3. 事業の早期再開により、地域社会の安全に貢献する
事業活動に影響を与える自然災害等の想定	<p>土砂災害 — 土石流被害が想定される区域</p> <p>地震 — 土石流被害</p> <p>津波 — 浸水深 1.0m以上 2.0m未満 (工場・事務所内に50cm浸水した被災経験有)</p> <p>台風 — 一時的な風害、土石流被害</p> <p>豪雨 — 浸水・土石流被害</p>
自然災害等の発生が事業活動に与える影響	<p>自然災害（浸水・土砂流入）により想定される被害について</p> <p>(人員に関する影響) 営業時間中に被災した場合、設備の倒壊や材料の落下、避難中の転倒により従業員が負傷する可能性がある。また通勤用の車両も被災することで、帰宅や出社が困難となることが想定される。</p> <p>(建物・設備に関する影響) 工場内に土砂や水が侵入し、建物や付随する配管や配線に大きな損傷を受け断水や停電が発生すれば一時的に作業が停止する。また、機械や車輛等の設備、在庫や中間財も損傷する恐れがある。 インフラについては、電気、ガス、水道共に1週間程度供給が停止するほか、幹線道路の通行止めや島嶼部と本土を繋ぐ橋の交通規制の恐れがある。 これらの被害の影響として、事業活動の全部又は一部停止等が想定される。</p> <p>(資金繰りに関する影響) 生産活動の停止により収入が得られないことで、運転資金がひっ迫する恐れがある。また、建物や設備が損傷した場合にはこれらの復旧費用が必要となる。円滑な資金調達ができなければ運転資金や復旧費用を捻出できない事が想定される。</p> <p>(情報に関する影響) 工場内の事務所が浸水すれば、パソコンや紙ベースのデータを喪失する恐れがある。これらのデータが喪失すれば、納品した墓所や墓石のメンテナンス対応等が困難になると想定される。</p> <p>(その他の影響) 山の斜面や狭隘な現場（墓所）が被災した場合、墓所への進入路の通行が不可能となる恐れがある。これら被害が事業活動に与える影響として、顧客への情報提供や復旧作業が行えない等の事態が想定される。</p>

事業継続力強化の内容

項目		初動対応の内容	発災後の対応時期	事前対策の内容
1	人命の安全確保	従業員の避難	発災直後	●避難場所・安全エリアまでの経路を確認
		従業員の安否確認	発災直後	●携帯電話を用いた緊急連絡網を作成する
		顧客への対応方法	発災直後	●顧客の避難経路・避難場所と従業員による避難誘導の手順を設定する
2	非常時の緊急時体制の構築	代表が指揮命令を行う	発災直後 1時間以内	●被害を想定して業務の役割分担を行い、優先順位を確定 ●災害対策の設置基準を決定し、周知
3	被害状況の把握 被害情報の共有	被災状況、製造・出荷活動への影響の有無の確認。 取引先や商工会への連絡。	発災直後 12時間以内	●被害情報の確認手順の整理 (証憑管理、写真撮影) ●主要な顧客の連絡先リストを作成

事業継続力強化に資する対策及び取組

A	<p>自然災害等が発生した場合における人員体制の整備</p>	<p><現在の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 代表、従業員の多能工化を進めている ● 緊急連絡網を作成 <p><今後の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域内の同業事業所との間で人員融通のための体制を整備し、平時から複数の事業所と人事交流を行う
B	<p>事業継続力強化に資する設備、機器及び装置の導入</p>	<p><現在の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 島嶼部の狭隘な道路事情に合った運搬機材（軽ダンプ、クローラー運搬機）を導入し、土砂等で道路が塞がれても、早期対応、事業継続を図る取組みとしている <p><今後の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 工場浸水時の停電を想定し、自家発電設備を導入して早期復旧と事業継続を図る
C	<p>事業活動を継続するための資金の調達手段の確保</p>	<p><現在の取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 建物、設備に火災保険をかけて災害時に備えている ● 緊急な融資に対応できるように商工会等の支援機関と日々コミュニケーションを取る <p><今後の計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 在庫や中間財についての保証を確認し、不十分であると想定した場合、追加策を検討する
D	<p>事業活動を継続するための重要情報の保護</p>	<p><今後の計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設計図面や顧客情報の全てを電子化し、毎月データのバックアップを取る ● データは、クラウド上のサーバーに保管する